

## 北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	学校教育編	担当課名	総務課／学校教育課
重点目標	自分で判断し自分で行動できる力を育みます		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額(千円)	H28事業評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求予算額(千円)
確かな学力の定着	4月に実施した全国学力学習状況調査(文科省)では、小学校では全国平均を、中学校では県平均を上回り良好な結果であった。市単独実施の標準学力テストでも同様な結果である。この傾向は最近来継続しており、望ましい状況と言える。生活サポート員の配置は、学力向上にとって大きな効果がある。	A	全国標準学力検査・知能検査	継続	2,609	A	全国標準学力検査・知能検査	継続	
			教育センター事業	継続	4,789	A	教育センター事業	継続	
			外国青年招致事業	継続	31,149	A	外国青年招致事業	継続	
			学校生活サポート推進事業	継続	39,986	A	学校生活サポート推進事業	継続	
問いを発する子どもの育成	自分の考えを進んで発表したり、人前でも臆せず表現したりする児童生徒が増えている。学校として様々な表現する場を意図的に設定したり、工夫したりして、計画的に育成している。	B	教育センター事業	継続	4,789	A	教育センター事業	継続	
豊かな心と健やかな体の育成	不登校・不登校傾向児童生徒が現時点で17名いる。リフレッシュ学園やさわやか教室の利用、家庭や関係機関と連携しながら登校に向けて指導している。いじめも存在するが深刻な状況の事案はない。	B	さわやか教室(指導員報酬)	継続	1,206	B	さわやか教室(指導員報酬)	継続	
			学童研修センター運営事業	継続	11,679	B	学童研修センター運営事業	継続	
			学校給食運営事業	継続	265,012	A	学校給食運営事業	継続	
			鷹巣地区学校給食センター統合事業	新規	39,804	A			

重点目標に関する平成28年度総括(成果・課題等)	重点目標に関する平成29年度方向性等	備考
<p>確かな学力の定着、問いを発する子どもの育成は、すべての学校で重点課題として取り組んでいる。その結果、学力については各種調査結果からも良好な状況にある。今後は、次期学習指導要領の改訂に向けた更なる教職員研修の充実が必要である。</p> <p>教育環境整備の観点では、他市町村に比べ北秋田市は教材備品や消耗品費、図書費などがたいへん充実している。そのことも成果をあげている要因の一つとなっている。今後も、あらゆる教育活動において「主体的に判断し行動できる力」を意図的・計画的に育てていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期学習指導要領の改訂に向け、新しい時代に必要となる資質、能力を育成するための教職員の研修の充実が求められる。今後も調査等を活発にした授業改善を進めたい。</li> <li>教材備品費などの教育予算についても、教育効果を高めるための重要な要素であるため、引き続き配慮をお願いしたい。</li> <li>支援が必要な児童生徒が増えているため、学校生活サポート員を4名増やし32名にしたい。</li> <li>外国青年招致事業では、英語教育・外国語活動充実のためALT7名体制さらに、ALTコーディネーター1名を配置し、市活性化のため幅広く活躍させたい。</li> </ul>	<p>※全国標準学力検査(委託料)は、教育センター費に含まれる。</p> <p>※さわやか教室の指導員報酬は、教育センター費に含まれる。</p> <p>※学校生活サポート4名を増やすため、予算増になっている。</p> <p>※ALTコーディネーターはALTの指導助言の他、外国人の本市への観光、英語版市ホームページの作成など、市活性化のために幅広い活躍が期待できる。</p>

## 【評価の観点について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成(要改善)	D：ほとんど未達成
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし(要見直し) 未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	学校教育編	担当課名	学校教育課
重点目標	学校・教師の力を高め魅力ある学びの場をつくります		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額 (千円)	H28事業評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求 予算額 (千円)
授業改善による指導力の向上	全教師が年間最低1回は研究授業を実施し指導力の向上を図っている。子どもたちが自ら考えることを大切にする授業が多く行われている。今後は、思考を広げ、深める授業を実践していくのが今後の課題となる。	A	教育センター事業	継続	4,789	A	教育センター事業	継続	
教師力の向上、信頼される教師の育成	授業研究・改善ばかりではなく、幅広い識見と教育愛をかん養するための幅広い研修、社会の変化に即応した研修の充実が必要である。また、教員の高齢化も進んでいるため、若年・中間年齢層の教員の教師力を高めることが急務となっている。	B							
自己実現、夢の実現をかなえる教育活動の推進	各校で「ふるさと教育を重視したキャリア教育」が教育活動全体を通して実施されている。夏季休業中の中学生職場体験学習への参加も増えている。今後は「将来、地域を背負う人材の育成」「ふるさとの活性化」という視点で全市的（行政）なキャリア教育の理解が必要となると考えている。	B	中学生職場体験活動	新規	0	B	中学生職場体験活動	継続	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備考
子どもたちの安定した学校生活の様子や学力調査結果での学習成果から考えれば、教員の指導力は着実に向上してきているといえる。各校の研究体制や研究内容も年々質的に向上してきている。数少ない若年・中間年齢層の教員の教師力を高めることが急務となっているため、各校でも工夫した取組が必要である。	授業研究・改善ばかりではなく、幅広い識見と教育愛をかん養するための幅広い研修、社会の変化に即応した研修の充実が必要である。市教育センターの研修内容の工夫も必要であるが、県総合教育センターの研修講座や他機関で実施する研修会への積極的参加を呼びかけていきたい。「ふるさとキャリア教育」の推進には全市的（行政）な理解が必要である。	【H19-28 小学校再編整備計画】 適正規模の学校・学級を目指した当計画は、中央小と鷹巣南小の統合を残してすべて計画通り実施した。再編により統合した小学校については成果が十分あった。 【H29-43 小・中学校適正規模再編プラン】 前計画で実施できなかった学校、さらには中学校も含め、新たな再編プランを策定中である。

【評価の観点について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	学校教育編	担当課名	学校教育課
重点目標	学校・家庭・地域が連携し支え合う取組を推進します		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額 (千円)	H28 事業 評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求 予算額 (千円)
地域との双方向の連携・信頼を築く学校づくり	全小中学校で実施している「学校支援地域本部事業」を活用し、地域の教育資源の教育活動への積極的な活用、地域と連携した教育活動など、各校が工夫を凝らしながら特色ある活動を実施している。	A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）	継続		A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）	継続	
			総合学習補助金（15校）	継続	750	A	総合学習補助金（15校）	継続	
地域に元気を届け、地域の活性化に貢献する学校づくり	地域と共催した学校行事やイベント、各種ボランティア活動など「地域貢献」を意識した特色ある教育活動が各校の工夫で実施されている。市教委としては、通常の教育活動に支障のない範囲で実施するよう周知している。	A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）	継続		A	学校支援地域本部事業（生涯学習課）		
安全・安心な教育環境の整備	全小学校で地域による「見守り隊」が組織され、登下校時の安全を進めている。26年度から「通学路交通安全推進会議」が組織され、通学路の安全について検討し、可能な限り安全対策を実施している。	B	通学路交通安全推進会議	継続	各課の整備	A	通学路交通安全推進会議	継続	
			地域による見守り隊	継続	0	A	地域による見守り隊	継続	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備 考
地域と共に歩み、双方向の連携・信頼を築く学校づくりは、全ての学校に浸透し確かな実践が行われている。そのことは、地域の活性化にも貢献し、「地域ぐるみで子どもを育てる」という気風が醸成してきている。「通学路交通安全推進会議」は国・県・警察（公安）・市が委員となり、現地点検も行いながら必要な措置をしている。26～28年度も実際に安全対策が実施された箇所もあり、実効力のある組織になっている。	地域との連携を図った学校づくり、特色ある教育活動は、29年度も28年度同様、さらに充実していくものと考えている。ただし、通常の教育活動に支障のない範囲内で実施することは周知していきたい。全校で組織されている「学校支援地域本部」を核とした地域との双方向の連携を一層充実させたい。	※「学校支援地域本部事業」は生涯学習課の事業で予算計上している。 ※「通学路交通安全推進会議」で検討結果、対策が必要な箇所については、国・県・警察（公安）・市がそれぞれ予算措置をしている。 ※小中学校舎修繕事業（工事費）H28予算額：50,459千円

【評価の観点について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	生涯学習編	担当課名	生涯学習課
重点目標	市民と行政が一体となった生涯学習の推進		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額(千円)	H28事業評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求予算額(千円)
知識や経験を次代に活かします	今日的課題をテーマにした学習機会の提供と、高齢者の主体的な学びと生きがいつくりの推進をはかっている。	B	日本語教室開催事業	継続	462	B	日本語教室開催事業	継続	
			高齢者教育事業	継続	891	B	高齢者教育事業	継続	
			公民館講座開設事業	継続	4,754	B	公民館講座開設事業	継続	
			婦人学級開設事業	継続	117	B	婦人学級開設事業	継続	
			市民ふれあいプラザ推進事業	新規	48,121	A	市民ふれあいプラザ推進事業	継続	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備 考
<p>高齢者大学で高齢者が主体的に学んだり、公民館講座で自主的に講座に参加することにより、地域のコミュニティ再生の取り組みや、賑わいつくりなど、様々な課題に対応した取り組みができた。</p> <p>また、講座等で学んだことを地域で活かし、地域の活性化に努めた。</p>	<p>講座参加者及び高齢者の学ぶ意欲の向上や仲間づくりを奨励し、参加者を増やす。</p> <p>主体的なボランティア活動、地域貢献など、地域活性化につながる活動を支援する。</p> <p>子育て世代のふれあいプラザ来館者支援のため、ねまーる広場にて一時預かりを実施する。</p>	<p>【高齢者大学】</p> <p>4 大学</p> <p>学 生 H27 426名、H28 408名</p> <p>【公民館定期講座】</p> <p>講 座 H27 39講座、H28 37講座</p>

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	生涯学習編	担当課名	生涯学習課
重点目標	地域・世代を超えた心の交流		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額 (千円)	H28事業評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求 予算額 (千円)
学校・家庭・地域 が共に育ちます	学校、家庭、地域を繋げる 活動の推進と高齢者の知識や 技術など地域の人材活用で、 学校・地域の相互の学習向上 に努めている。	B	青少年育成事業	継続	612	B	青少年育成事業	継続	
			子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業	継続	966	C	子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業	継続	
			放課後児童健全育成事業	継続	246,710	A	放課後児童健全育成事業	継続	
			地域児童健全育成事業	継続	306	B	地域児童健全育成事業	継続	
			少子化対策・子育て支援事業	継続	1,801	B	少子化対策・子育て支援事業	継続	
			放課後子ども教室	継続	4,645	B	放課後子ども教室	継続	
			学校支援地域本部事業	継続	1,683	B	学校支援地域本部事業	継続	
									家庭教育支援チーム推進事

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備 考
学校支援地域本部事業では、地域と学校の連携強化により市民の知識・経験を子どもたちに伝え、世代を超えた交流をすることで、子どもたちの豊かな体験や市民の生きがいを促進し、地域の活性化につながった。	学校支援地域本部事業における、学校と地域との連携・協働により子どもたちの体験や経験をさらに充実し、地域の将来を担う人材育成と地域の良さを知るふるさと教育の推進を図る。 また、家庭教育の重要性と、親子の絆を深める体験活動の必要性から、新たに家庭教育支援チームを立ち上げ、地域全体で子どもを育成支援する体制を構築する。	【放課後児童健全育成事業】 ・11施設 14教室 ・登録児童数 H27 554名、H28 585名 鷹巣小児童クラブ（建築中）

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	生涯学習編	担当課名	生涯学習課
重点目標	豊かな感受性と健康な体づくりの推進		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額(千円)	H28事業評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求予算額(千円)
芸術文化をとおり、心を豊かにします	芸術文化鑑賞の機会の拡充と読書活動の推進及び浜辺の歌音楽館やみちのく子供風土記館の活用により芸術文化振興を図っている。	B	文化振興事業	継続	82,730	B	文化振興事業	継続	
			文化祭開催事業	継続	2,000	A	文化祭開催事業	継続	
郷土を愛し、文化を継承します。	市内文化財の保護継承と民俗芸能の発表機会拡充及び伊勢堂岱遺跡の環境整備・公開活用で見学者の利便性向上に努めている。	B	文化財保護事業	継続	11,159	B	文化財保護事業	継続	
			文化財管理事業	継続	1,039	B	文化財管理事業	継続	
			伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業	継続	62,106	B	伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業	継続	
			伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業	継続	8,359	B	伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業	継続	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備考
<p>芸術文化の取り組みは、仲間との交流や技能向上・学ぶ意欲と生きがいがづくりとなっている。また民俗芸能や文化財の保護活用・公開に努めることで、北秋田市の宝を市外に発信できた。</p> <p>伊勢堂岱遺跡のジュニアガイドボランティアの活動は市内外から注目を集めた。</p>	<p>学校や地域との連携・協働の活動をさらに推進し、文化財の保護や継承活動で後継者の育成と、多くの子ども達にふるさとを愛する心の醸成を図る。</p> <p>また、地域の歴史や文化財の適切な保存を図りながら、観光資源として積極的な活用・情報発信をし、市の観光振興・活性化に役立てる。</p>	<p>【世界遺産登録に向けた取り組み状況】</p> <p>①世界遺産登録推進会議構成自治体との連携強化</p> <p>【伊勢堂岱縄文館運営の展望】</p> <p>①展示物の公開 ②体験学習 ③ボランティアの育成 H27 27名、H28 24名</p>

【評価について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	スポーツ振興編	担当課名	スポーツ振興課
重点目標	【生涯にわたるスポーツ】スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができる社会		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額 (千円)	H28 事業 評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求 予算額 (千円)
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	「チャレンジデー」の趣旨が年々周知されるようになってきた。	A	チャレンジデー2016補助金	継続	150	A	チャレンジデー2017補助金	継続	
多様なスポーツ機会の確保	体育協会と連携した市民の豊かなスポーツライフの推進が図られている。	A	体育協会補助金	継続	1,000	A	体育協会補助金	継続	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備 考
・生涯スポーツへの参加人口が増えて、地域間の交流も図られてきた。	・事業への住民参加拡大に向け計画の整備を図る。	

【評価の観点について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	スポーツ振興編	担当課名	スポーツ振興課
重点目標	【青少年のスポーツ】 青少年が健全に育ち、他者との協同や公正さと規律を重んじる社会		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額 (千円)	H28 事業 評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求 予算額 (千円)
地域における子どものスポーツ機会の充実	スポーツ少年団組織への補助及び大会派遣費等の補助を行ったことにより負担軽減及び活性化が図られた。	A	スポーツ少年団補助金	継続	560	A	スポーツ少年団補助金	継続	
			スポーツ少年団大会派遣費	継続	1,300	A	スポーツ少年団大会及び小学生大会派遣費	継続	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備 考
・社会体育化により、団体の結束力及び競技力の向上が図られている。	・競技種別及び参加者数の拡大を図る。	

【評価の観点について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し） 未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	スポーツ振興編	担当課名	スポーツ振興課
重点目標	【地域スポーツ】地域の人々の主体的な協働により、深い絆で結ばれた一体感や活力がある地域社会		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額 (千円)	H28事業評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求 予算額 (千円)
スポーツによる人と人、地域と地域との交流の促進	秋田県、北秋田市、仙北市、実行委員会で協力会議を組織したことにより、安定した大会運営が図られた。	A	100キロチャレンジマラソン大会補助	継続	3,000	A	100キロチャレンジマラソン大会補助	継続	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備 考
・地域イベントとして定着し、にぎわいの創出・スポーツを通じた地域の活性化が図られている。	・継続性のあるイベントに携わることにより、地域住民の世代間交流を図る。	

【評価の観点について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成	
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し）	未：未実施

北秋田市教育大綱に基づく平成28年度実施状況（評価）及び平成29年度実施予定

教育大綱区分	スポーツ振興編	担当課名	スポーツ振興課
重点目標	【競技スポーツ】スポーツ選手の活躍により、市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、活力ある社会		

主要施策	平成28年度実施状況・成果等	施策評価	平成28年度関連事業名	新規・継続	H28予算額(千円)	H28事業評価	平成29年度関連事業名	新規・継続	H29要求予算額(千円)
各種スポーツ大会の奨励	スポーツ大会を開催することにより、競技の普及と競技力向上、更には地域の活性化が図られた。	A	スポーツ大会開催補助金	継続	700	A	スポーツ大会開催補助金	継続	
競技力向上に向けた人材養成・スポーツ環境の整備	体育施設の適切な管理を行うことで、利用者の安全性と利便性が図られた。	A	鷹巣北野球場整備	新規	39,671	A			
							中央公園野球場整備	新規	

重点目標に関する平成28年度総括（成果・課題等）	重点目標に関する平成29年度方向性等	備 考
・競技団体により大会が開催されることにより競技力の向上が図られている。	・スポーツ環境を整備することによる、競技団体の競技力の向上を図る。	

【評価の観点について】

主要施策の評価	A：十分に達成	B：概ね達成	C：少し達成（要改善）	D：ほとんど未達成
関連事業の評価	A：十分な成果あり	B：概ね成果あり	C：成果は少ない	D：ほとんど成果なし（要見直し） 未：未実施